

# 第1学年音楽科学習指導案

日 時 平成27年11月19日(5校時)  
学 級 金ケ崎町立金ケ崎中学校1年1組  
男子15名 女子15名 計30名  
授業者 教諭 佐藤 孔哉

## 1 題材名

魔王の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱などの要素や歌詞の内容と曲想の関わり感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わおう。

## 2 題材について

(1) 題材について 教材曲 「魔王」シューベルト作曲

本題材は、中学校学習指導要領の第1学年B鑑賞(1)アの中から、「音色」「旋律」「強弱」を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、主体的に解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わうことをねらいとしている。教材曲の「魔王」はドイツリートの代表的な作品でもあり、詩と音楽の一体化を味わうことができ、また、登場人物による旋律の歌い方の音色の変化などが分かりやすく、共通事項を手がかりにしながら聴く活動が可能である。そのため、楽曲全体の特徴や雰囲気を自由に感じ取ったり、楽曲の特徴的な部分に焦点を当て、音楽の仕組みや構造を具体的に理解させながら、よさや美しさを感じさせていく。また、価値や思いを深めるために、共通事項をもとに知覚感受したことを適切な用語や記号を用いながら、伝えあったり、共有したりする場面を設定し、最後に楽曲全体を通して聴き、感じたことや自分なりに解釈したことを言葉でまとめ、主体的に音楽のよさや美しさを味わう鑑賞の能力を高めたい。

(2) 生徒について

ア 学習アンケート(音楽授業について 1年1組 27年6月実施)

質問事項	肯定的回答の割合(%)	
	とても	やや
1. 学習課題に対して振り返る活動を行っていますか。	46.4	42.9
2. 授業を通して、何について学習するかがわかりますか。	67.9	21.4
3. 音楽の授業に意欲的に取り組んでいますか。	60.7	25.0
4. 歌を歌う時いつも気をつけることは何ですか 音程 75.0 声を出すこと 50.0 発音 25.0 表情 17.9 腹式呼吸 10.7		
5. 歌を歌う時何を聴きながら歌っていますか ピアノなどの伴奏 78.6 同じパートの声 57.1 大きな声を出している人の声 10.7 自分の声 10.7 隣の人の声 7.1 特に意識していない 0		

概ね肯定的な態度で音楽の授業にのぞんでいることが分かる。課題の提示や振り返る活動を意識して取り組むことにより意欲的な態度で学習することにつながっているのではないか。また、歌唱する時には特に音程を意識して歌おうとしていることが分かる。多くの生徒はピアノ伴奏や同じパートの人の声を聴きながら歌唱しており、何も意識しないで歌っている生徒はいない。

## イ 授業の様子

1学期に鑑賞の活動で「春」(ヴィヴァルディ作曲)を教材にソネットと関連付けて鑑賞している。直感的に雰囲気を言葉で答えたりはできるが、なぜそう考えるのかと言う根拠の説明はできていない。そこで、本題材では楽曲全体から特徴ある部分を知覚感受させ、感じ取った内容について根拠をもって言葉で説明し、音楽を深く理解できるようにさせていきたい。

(3) 指導について

「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、要素と曲想の関わりを感じ取って聴き、詩と音楽が一体と

なっている「魔王」の特徴を主体的に解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わうために以下の指導を計画した。第1時では、曲の題名や歌詞の内容は伏せて聴かせ、曲から感じ取ったり気づいたことを自由に発表させる。その後「子」に注目させ、旋律（音の高さ）、強弱、音色（歌い方）がどのように変化しているかを知覚させる。さらにそのことから「子」の心情の変化を感受させる。その後、「魔王」を「子」と比較聴取させ、旋律（音の高さ）、強弱、音色（歌い方）の表現を知覚、感受させたい。第2時ではゲーテとシューベルトについてやリートの特徴、時代背景を学習する。また、「魔王」の詩の内容を理解し、前時の学習と関わらせて学習を深める。その後楽曲全体を鑑賞し、前時の学習内容を手がかりにしながら、批評文を書き、よさや美しさを味わって聴く。

### 3 題材の指導目標

「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら、要素と曲想の関わりを感じ取って聴き、詩と音楽が一体となっている「魔王」の特徴を主体的に解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わうことをねらいとする。

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色や構造と曲想との関わりに関心を持ち、主体的に鑑賞する学習に取り組もうとしている。	①「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感受している。 ②知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取り、言葉で説明するなど、音楽のよさや美しさ、面白さを聴き味わっている。

### 4 指導と評価の計画（2時間）

時	学習内容	観点		評価規準
		関	能	
1 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ語による「魔王」を全曲聴く</li> <li>「子」の歌の部分に着目し、旋律、強弱、音色の特徴や変化をシートに書く。</li> <li>「子」の心情の変化を捉える</li> <li>「魔王」の歌の部分に着目し、旋律、強弱、音色の特徴や変化をシートに書き、意見交換する。</li> <li>学習した内容をまとめる。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲全体から感じたことを自由に記入させるようにする。</li> <li>音楽の構造に着目させながら楽曲の特徴と共通事項の関わりをあきらかにする。</li> <li>「子」の特徴をもとに比較させながら「魔王」の部分を知覚・感受させる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>「魔王」の作曲者と作詞者や作曲された頃の時代について学ぶ。</li> <li>「魔王」の詩を理解する。</li> <li>今までの学習を踏まえて、言葉や文章で説明するなどして「魔王」の音楽のよさや美しさを味わって聴く</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容を説明するとともに、作曲者と作詞者や時代背景に触れ、リートを理解を深める。</li> <li>楽曲全体の魅力を言葉で説明するなどしながら「魔王」の音楽のよさや美しさを味わわせる。</li> </ul>

### 5. 本時の指導

#### (1) 指導目標

・旋律、強弱、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受できる。

#### (2) 指導構想

本時は、曲の題名や歌詞の内容は伏せて聴かせ、曲から感じ取ったり気づいたことを自由に発表させる。その後「子」に注目させ、旋律（音の高さ）、強弱、音色（歌い方）がどのように変化しているかを知覚させる。さらにそのことから「子」の心情の変化を感受させる。その後、「魔王」を「子」と比較聴取させ、旋律（音の高さ）、強弱、音色（歌い方）の表現を知覚、感受させたい。

(3) 本時の評価規準

観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への手立て
音楽への関心・意欲・態度	「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色や構造と曲想との関わりに関心を持ち、主体的に鑑賞する学習に取り組んだり、他者に伝えようとしている。	「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色や構造と曲想との関わりに関心を持ち、主体的に鑑賞する学習に取り組もうとしている。	「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に取り組むよう促す。
鑑賞の能力	「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じたり、それから創造した情景や心情を具体的に書いている。	「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じている。	他者の意見を聞き、共感したことやわかったことをシートに書くよう促す。

(4) 本時の展開

段階	指導内容	学習活動	指導上の留意点及び評価 ★評価 ◎手立て
導入 8分	1. ドイツ語による「魔王」を全曲聴き取りと感じたことの発表。 2. 曲の題名と登場人物の確認。 3. 学習課題の設定	・ドイツ語による「魔王」を全曲聴き、感じたことを発表する。 ・曲の題名と登場人物を確認する。	・情報を与えず、自由に聴かせる。 ・曲の題名と登場人物の簡単な説明を行う。
学習課題 登場人物による音楽表現の違いを、旋律、強弱、音色を手がかりに感じ取ろう			
展開 35分	4. 「子」の歌の部分4回に着目して鑑賞する。 ・「子」の歌の部分4回を聴き、感じ取ったことのまとめ。 ・旋律、強弱、音色に着目して聴き取り。 ・「子」の心情の変化を捉えさせる。 5. 「魔王」の歌の部分3回に着目して鑑賞する。 ・「魔王」の歌の部分4回を聴き、感じ取ったことのまとめ。 ・旋律、強弱、音色に着目しての聴き取り。	・「子」の歌の部分4回を聴き、感じ取ったことをまとめる。 ・旋律、強弱、音色に着目して聴き取る。 ・「子」の心情の変化を捉える。 ・「魔王」の歌の部分4回を聴き、感じ取ったことをまとめる。 ・旋律、強弱、音色に着目して聴き取る。	◎「子」の部分の音楽だけ流し、歌から感じ取った雰囲気やようすを聴き取らせる。 ★旋律、強弱、音色（歌い方）に注目して聴かせ、雰囲気やようすと関わらせる。 ◎「魔王」の部分の音楽だけ流し、歌から感じ取った雰囲気やようすを聴き取らせる。 ★「子」の時の考え方を生かし、旋律、強弱、音色（歌い方）に注目しながら聴き、雰囲気やようすと関わらせる。
終末 7分	6. 学習の振り返り ・振り返りを全体でする。	・本時の学習を振り返る。	・わかったことや学んだことを記入させ、数名に発表させる。

(5) 板書計画

学習課題 登場人物による音楽表現の違いを旋律、強弱、音色を手がかりに感じ取ろう

曲名 「魔王」  
登場人物 魔王、子、父、語り手

1 子の変化を聴き取りましょう

① どのような感じがしましたか。イメージや雰囲気を聴き取りましょう。

助けを求めている。訴えている。怖がっている。叫んでいる

② それは音楽のどのようなところから感じましたか。

旋律（旋律の動き）	強弱（音の強弱）	音色（歌い方）
フレーズが短い	変化がはっきり	強くなった
高低がはっきり	声が大きくなった	叫んでいる

2 1 番の学習を生かして「魔王」の変化を聴き取りましょう。

感じたこと	旋律
穏やかな感じ	高低の動きが落ちついている
やわらかい	強弱
ゆるやか	変化があまりない
後半は怒っている	だんだん大きくなっていった
	音色

※小学校での学習との関連図

